

# 第2回 未来としまミーティング 報告書



## ■ 日時

日 時:令和6年1月15日(月) 18時~19時30分

場 所:長崎小学校 体育館

担当課:企画課、庶務課

## ■ 実施方法

意見交換は、以下のテーマにより1グループで行う。

### 【テーマ】

これからの公立学校に期待すること

## ■ 参加者数

豊島区立小・中学校に通う児童・生徒の保護者	2名
豊島区立小中学校 学校運営連絡協議会委員	10名

## ■ 出席者(区側)

豊島区長 高際みゆき

豊島区教育委員会教育長 金子 智雄

## ■ 主な意見(要約)

ご意見について
(外国籍児童・生徒への対応について) ・外国籍の子どもにも地域の行事に参加してほしいが、言葉の壁があり案内が難しい。 ・両親ともに日本語が話せない家庭への対応が難しい。
(不登校問題について) ・学校に来ないと教育を受けることができないので対策を検討してほしい。 ・学校に来させるだけでは根本的な解決にはならないので、ヒアリングなどをして、原因を明らかにするべきである。 ・不登校に対する見方が変わってきている。不登校そのものを減らしていくのか、不登校という状態の中で対応策を考えるのか、豊島区としての方針を示してほしい。
(地域の在り方や役割について) ・地域の役割は、子どもとの関係構築や不登校といった課題に対して冷静に学校を支えていくことだと思う。 ・子どもがのびのびと育つようにあまり規制をかけない地域環境を作りたい。 ・若い保護者は地域とのかかわり方について苦労している人も多いと思う。 ・地域が保護者とどのようにコミュニケーションをとっていくかが課題である。 ・通学路の危ない場所については、子どもに声かけを行ったほうが良いと思う。
(夏休みの短縮化について) ・新宿区でも似たようなことをしているので検討してほしい。子どもは生活リズムが整う、共働きの保護者は子どもを預ける負担が減る、教職員も土曜授業をやめて夏休みに行くことで負担が減るというメリットがある。
(タブレットやICT活用について) ・子どもは、タブレットを使いこなしており教育効果も上がっていると思う。タブレットに関して規制をかけるのは反対である。 ・タブレットと教科書をダブルで持ち運ぶことでランドセルがとても重い。デジタル教科書を早急に整備したほうが良いと思う。 ・ICTリテラシーがない教職員に対して研修をしたほうが良いと思う。
(学校教育について) ・臨時講師として地域の人にその地域の歴史を話してもらう授業があっても良いと思う。 ・親子で美術館や図書館、公園巡りをして楽しみながら文化を学んでほしい。 ・としま子ども会議は地域学習として授業でも取り入れるべきだと思う。 ・子どもたちへの評定の付け方に不明確なところがあると思う。頑張っても正當に評価されないとやる気をなくすし、不登校の原因にもなると思う。

(教職員について)

- ・教職員の不祥事に対して、資質、性癖など区がどのように確認しているのか気になる。
- ・新卒だけではなく、一度社会に出た人の採用をもっと増やしても良いと思う。
- ・教職員の働き方改革を進めるにあたって、デジタル教科書の導入を進めてほしい。

(未来としまミーティングについて)

- ・地域、保護者だけではなく学校や教職員の意見を聞いても良いと思う。

(その他)

- ・文部科学省が始めた生命の安全教育プログラムについて豊島区としてどう対応していくのか教えてほしい。

## ■ 当日の様子



開会のご挨拶



参加者で記念撮影



活発な意見交換の様子

## ■ 参加された方の感想

- ・貴重な機会を提供いただき感謝している。参加者の距離感の観点から、少し小さな空間で行った方が良いと思う。
- ・今後は対面とオンライン発信とのハイブリッドで開催することで、もっと多くの参加者を募ることが出来ると思う。
- ・高際区長の教育改革への心意気を聞くことができ、大変有意義であり、大いに期待している。
- ・地域の方が多かったが、少人数だったのでゆっくりと個々の意見を聞くことができた。また、区長の力強い言葉に大変うれしく安心した。



令和6年3月 編集・発行 教育部庶務課  
問い合わせ:03-3981-1591(所管課電話番号)